

2012年3月7日

東北コミュニティの未来・志縁プロジェクト

連絡先：事務局長 住本 勉 cbnkw471@ybb.ne.jp
(080-6730-2106 080-2339-0258)

南相馬市から避難されているお母さんへのアンケート結果まとめ

南相馬から避難されているお母さん方に、以下のアンケートを実施しましたので報告いたします。

【アンケート趣旨】；

南相馬を離れて慣れない地での避難生活を 送られている方々にその生活やご意見を伺い、南相馬での活動や、まとめれば行政にもつなげていくことで、ご支援できないかと考え、以下のアンケートを実施した。

- ・無記名で、いただいた回答は、個人が特定化できないよう統計的に処理
- ・多様な意見や思いを吸い上げるべく書き込み形式欄を多く設けた。

【アンケート配付と回収】；

(1) メール展開

1月中旬から南相馬市から避難されている母親からの展開を始めた。

南相馬市内からも展開するべく、多くのNPO、経済団体、農業団体等にも展開依頼を続けた。

- ①□母親は携帯電話の通信が主流なので、携帯メール版で展開することで利便性を図った。
- ② 展開先から、さらに別の母親に展開していただけるように依頼した。

回収：

方法—

- ①□依頼先がまとめて住本に転送する
- ② 住本のアドレス cbnkw471@ybb.ne.jp に直接メール回答

回収期限— 2月中旬。

また、

(2) 米沢市避難者支援センターでは、紙形式をこのセンターに置いてあげる、ついでには、母親以外の対象者にも書ける形式にして、と言われ、紙形式も用意した。

1月下旬～2月中旬まで避難者支援センター来訪者に展開していただいた。

【アンケート結果】：

- ・回答数 28 — 内訳は
メール回答； 22 米沢被災者支援センター； 6 (うち、子供のいない方は2件)

◆1：南相馬市（ ）区から避難してきている

小高区 5人 原町区 20人 鹿島区 3人

◆2：避難先（現在の居住地）福島県内（市）県外（県）

避難先： 山形県 15人 福島県 6人 神奈川県 2人
各1人— 宮城、青森、秋田、千葉、静岡県

◆3：家族構成

★1；①0歳～就学前 がいる；16人（子供数24人）②小学生がいる；13人（子供22人）
うち、①②の両方の子がいる人；8人
③中学生がいる；6人（子供6人）（うち一人は父親と南相馬に）
質問に用意していなかった高校生を追記回答されたのが5人（高校生数5人）

★2；夫と— 同居は10人 別居は14人 回答なし；4人
別居の夫は、南相馬；10人、福島県；3人 宮城県；1人

◆4：南相馬の自宅は

★1；ある— 家族が住んでいる（親、夫、他）；11人
★2；ある— 誰も住んでいない；12人（うち小高区— 5人）
★3；ない— 地震・津波被害等；3人

◆5：生計 夫は働いている： 22人

妻は働いている； 8人（うち夫婦共働き家庭は7人）

◆6：避難先での交流

★1：避難者同士の交流— ある；19人 ない；8人 回答なし；1人
★2：受入れ先住民との交流— ある；13人 ない；14人 回答なし；1人

◆7：避難している理由

放射能の影響；28人全員 複数回答として— 仕事；1人、教育；1人

◆8：避難生活で困っていることは（二点まで）

★1：精神面（8人）— ストレス、友人がいない、うつ、不安、家族に会えない
（ストレスがたまる、家族との団欒があまりない、友達がいらない、知り合いもいないのでうつになりそう、子供達と父親が離れ離れで、お互いが寂しい思いをしている、近くに知人等が少ないため、外に出歩くことが少なくなりがち）

- ★2：経済・仕事（4人）— ローン、2重/3重生活負担、（金銭面（補償金はローン返済）、生活費が3つでかかる、不安を抱えたままでは仕事を探す意欲がわからない）
- ★3：雪（4人）— 大雪、雪かき、雪おろし
- ★4：学校（3人）—（学校の手続き（卒業、行事連絡ほか）、宮城県〇市は住民票を移さないと市立の幼稚園に入れない）
- ★5：家（1人）— 自宅が心配
- ★6：情報（3人）— 南相馬、福島がわからない、小高の情報がない
- ★7：子供（2人）— 夫不在、反抗期
- ★8：夫別居（2人）
- ★9：南相馬市手続き（2人）—（手続き、検査、説明・相談会などが南相馬市で開催される事が多く、行きにくい、住民票を残したままでの避難は、行政手続きが煩雑だ・被ばくなどの検査ができない）
- ★10：物資（1人）— 物資提供がない

◆9：避難による子供への悪影響は

- ★1；ない— 12人；（今まで一緒に生活していた家族と離れてしまったが、避難先でのびのび子供らしく外で元気に遊んでいる。避難して不安定だったが、思いっきり遊べたりする事で穏和されたと思う。避難当初はあったが、今は落ち着いている。）
- ★2；ある— 6人；（大いにある。家族がはなればなれで・・・。保育園に行けなく、祖父母がいないから、ストレスがたまって、怒って、けんかが多い。子供としては家族全員で住みたい、寂しい。）
- ★3；わからない— 1人（悪影響はわからない 普段は元気にしているがこんなことなければ、福島にいれたのにとよく話す）

◆10：南相馬に帰る意思

- ★1；帰る時期を決めている；3人
 - ・1年後— 借上げ期間が終わるので金銭的負担から
 - ・2年後— 原発事故の本当の収束まで見て、安心してから
 - ・だいたい2年後— 除染が完全に終わり、安全になったら
- ★2；帰らない；7人（今のところ帰る予定はない。未定 ただ、将来的に教育の充実、限りなく震災前に線量が近くなれば、考える。）
- ★3；条件が整えば帰る；14人（内訳は下記↓（*））
- ★4；わからない；4人

（*）★3；条件が整えば帰る（14人）の内訳—

- ・子供にとって元の生活に戻れる 9人

(こども達にとって普通の(震災前のような)生活ができる状況になれば帰りたい
と思っている。原発事故前の生活ができるなら。)

- ・ 自宅購入やアパートのめどが立てば 2人
- ・ 小高のライフライン、2人
- ・ その他— (各1人; 線量避難先レベルに、収入が元のレベルに、家が完璧に除染、
学校教育、子供の成人まで)

◆ 1 1 : 政府、福島県、南相馬市への要望

★ 1 ; 情報を隠さず公開してほしい— 8名

(全てありのままの事を公表してほしい。原発等の情報を隠さずに教えてほしい。
除せんを早くして、正確な情報を流してほしい。隠し事なく、正直にすべてを
話してほしい。)

★ 2 ; 県外避難者の健康チェック実施— 2名

(避難して他県にいても検査はしてほしい。)

★ 3 ; その他(各1名)—

原発起因の病気の医療無料化; 復興するには時間がかかる…しかし、諦めずに少しずつ
でも良くなるように前進し続けて; 子供に事故前の生活を; 避難したい人への支
援; 南相馬に残る人への内部被曝対応を; 学校を県外に; 水の調査を; すべて
に早く(遅い); 今までの生活を戻して; 原発収束後に除染を; 子供たちが学校
全体学級全体で合う機会を

◆ 1 2 : 受け入れ先地元行政についてご意見 あれば

★ 1 ; よくしてもらい感謝— 7名

★ 2 ; その他(各1名)— 住宅提供、仕事がほしい、子育て支援、気持ち察してほしい、
相談相手が不明、よくしてもらっているが細部に不足

◆ 1 3 : その他(以上で述べきれないことがございましたら、何なりと)

・ 各1名—

国・県・市すべてが信じられない。住めるのなら帰るがだめなら国が買い取って。
公開でパニックを恐れたのか。避難してよかったのか…避難しなくてもよかったのか…
この先が不安。、嘘をつかないように。不信で帰らない。

以上。